

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分	新規	整理番号	3	課題区分	C	令和8年(2026年)4月1日	
横断的な課題	2地域を支える産業のグレードアップ						
地域重点政策	2地域を支える産業のグレードアップ					上田地域振興局	
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	林務課(普及林産係)	
事業名	にぎやかな森プロジェクト			電話	0268-25-7138(直通)		
				E-mail	uedachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、下記項目の調査研究・評価によりデータの見える化を図り、その成果を地域林業経営者等へ普及啓発する。					
	現状と課題	東信カラマツの需要が高まる中、主伐・再造林など持続的な森林経営にどう繋がかが課題。このような状況を踏まえると、地域林業の長期的課題に改めて向き合い、地域内で連携して課題解決に向けてひとつひとつ実践し、成果に関する社会的な認知を高めることが必要。折しも、脱炭素や気候変動への対応など、森林に対する社会的ニーズや機運が高まっている状況から、森林の新たな付加価値の創出も含め、幅広く調査研究に取り組むことが必要。 令和7年度は生物多様性調査など4つの長期的継続課題に加え、喫緊の課題である担い手確保やシカ被害についての調査研究を行い、関係者を集めて成果報告会を開催した。支援企業は6社の支援継続、4社の新たな支援が決まり、令和8年度は14社による支援でスタートする。今後は支援企業から調査研究参加や課題の提案を募るなど開かれた取組としていきたい。					
内容 (変更後の内容)	<p>下記項目について調査研究活動を実施し、これまでの成果を取りまとめる。</p> <p>① 林業活動が生物多様性にもたらす効果の調査・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 …管内認証森林の伐採・植栽地の動植物相(種数など)の変化を調査</li> <li>・現状と課題…森林の新たな付加価値の創出</li> <li>・成果の活用…林業活動による生物多様性保全への貢献度の見える化 生物多様性の見える化の取組をPR、企業のCSR・CSV投資を呼び込み</li> </ul> <p>② 森林のCO2吸収評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 …上田地域SGEC認証森林にて、Jクレジットの取得に着手</li> <li>・現状と課題…森林の新たな付加価値の創出、Jクレジット取得のノウハウの蓄積</li> <li>・成果の活用…森林管理によるCO2吸収量のクレジット化を図り、企業のCSRやCSV投資につなげる。</li> </ul> <p>③ カラマツ丸太木材強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 …上田地域SGEC認証森林のカラマツの丸太強度試験を実施</li> <li>・現状と課題…高い強度を持つカラマツの新たな付加価値の創出</li> <li>・成果の活用…土場での強度別仕分け方法や高い強度につながる施業技術の確立など 山側における丸太素材の高付加価値化</li> </ul> <p>④ カラマツ天然更新可能性調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容 …伐採跡地における実生による天然更新や成林に関する調査</li> <li>・現状と課題…長期的課題への対応</li> <li>・成果の活用…天然更新による再造林コストや労働力の低減、 持続的な森林経営手法の確立に向けた模索</li> </ul> <p>⑤ 調査研究活動の事例調査、報告会開催、報告書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容… 調査研究成果及び他地域における事例等調査を地域林業経営者や 社会貢献に興味のある企業等へ普及啓発を行う報告会の開催等</li> <li>・現状と課題…長期的課題や喫緊の課題への対応</li> <li>・成果の活用…調査研究成果に関する社会的認知の向上</li> </ul>						
事業期間	令和8年(2026年)4月			～	令和9年(2027年)3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	①生物多様性評価	生物多様性効果の見える化	556,000				
	②森林のCO2吸収評価	Jクレジット取得支援	0	森林所有者の後方支援(企業マッチング)等に移行			
	③カラマツ丸太強度試験	強度試験・ニーズ調査	70,000				
	④天然更新可能性調査	天然更新技術の確立	74,000				
	⑤事例調査・報告会	関係者への普及啓発	30,000	報告会資料代			
合計		730,000					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	成果の普及啓発先 (調査や報告会等に参加する連携団体・企業数 R5:51者、R6:52者、R7:未確定)		60者		<input type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 一部達成 <input checked="" type="radio"/> 未達成		
事業実績・成果							
今後の方向性							